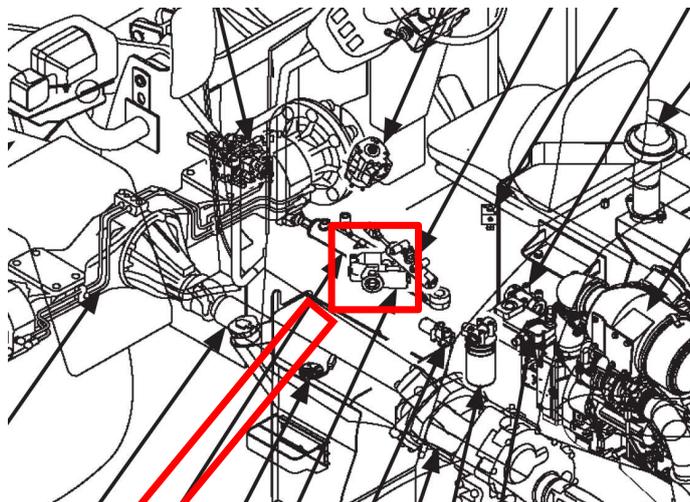
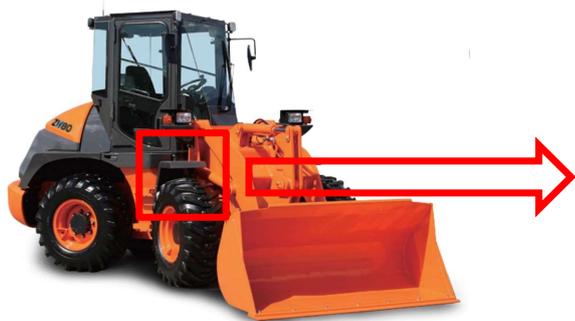


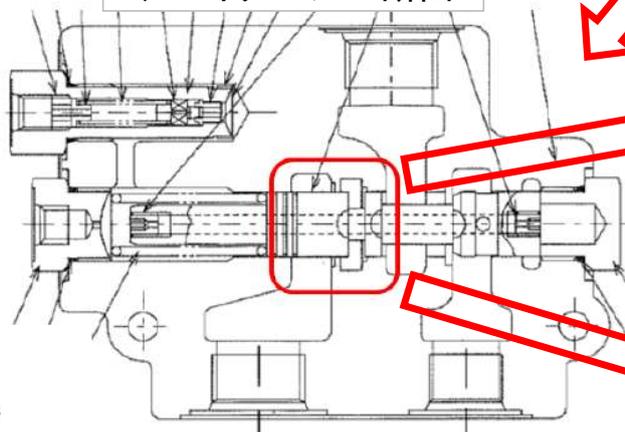
改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

ステアリング回路に装着された
デバイダバルブ

デバイダバルブ断面



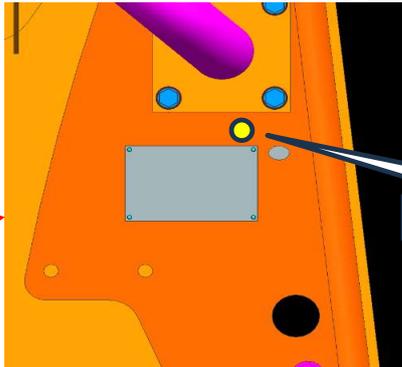
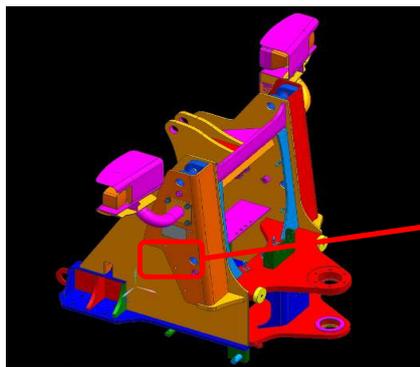
不具合発生箇所の構造、装置又は性能の状況及びその原因

ショベル・ローダのステアリング回路に装着された、油圧の流量をステアリングと荷役で分配する油圧流量分配弁(デバイダバルブ)の内部スプールにおいて、作業工程が不適切だったため、誤ったスプールを組み込んだものがある。そのため、走行等の際にデバイダバルブ内にサージ圧が発生すると、バルブハウジング内部の隔壁が損傷し、ステアリング回路に流れる作動油の量が急激に減少することがある。最悪の場合、ハンドルが急激に重たくなり、通常どおりのステアリング操作が困難になるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、デバイダバルブを点検し、異品が組み付けられている場合は良品に交換する。

識別: 対策実施済車には、フロントフレームの左フロントランプブラケット下部に黄色ペイントでチェックマークを塗布する。



黄色ペイントを塗布する。